

☑ 備蓄品・非常持ち出し品を用意している

食料や水は1週間分を用意しておきましょう。定期的に食べて、食べた分を買い足し備蓄していく「ローリングストック法」という備蓄法があります。この方法なら、消費期限が短いレトルト食品等も非常食として扱えます。

カセットコンロや電池、携帯トイレなどのほか、家庭の状況に応じて、お薬手帳や常備薬、ハビー用品、ペットの飼料なども備えておきましょう。



☑ トイレを備蓄している

災害時、断水などでトイレが使用できなくなる場合があります。また、集合住宅では、排水管等の破損などの修理が完了するまで、トイレ利用が制限されることが想定されます。市では、各一次避難所下流等の下水道管の耐震化、簡易トイレや携帯トイレの備蓄などの対策をしていますが、ご家庭でも、在宅避難に備えて携帯トイレなどの備蓄をお願いします。



☑ 屋外のブロック塀を定期的に点検している

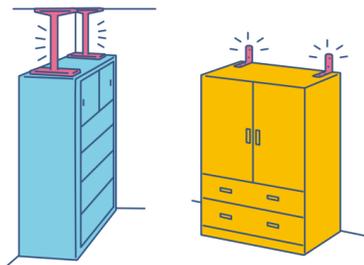
破損、老朽化したブロック塀は、地震によって倒壊する可能性があります。定期的に点検しましょう。

市は、ブロック塀等の撤去や改修、新設などの費用を助成しています。対象等々しくは市ホームページをご覧ください。

☑ 家具転倒防止器具を活用している

転倒の恐れがある家具には、家具転倒防止器具を取り付けましょう。

市は、高齢者・障害者世帯に、1世帯当たり5か所まで、家具転倒防止器具を取り付けています。条件等々しくは高齢福祉課・内線1476へ。



目指せ、最強のおうち避難所

在宅避難チェックリスト☑

「在宅避難」は、災害時に住み慣れた自宅で避難生活を送ることです。環境の変化がなく、プライバシーも守られます。自宅が安全であれば、積極的に在宅避難を行いましょう。また、在宅避難を行うためには、災害が起きても、自宅で生活できるよう、準備しておく必要があります。

チェックリストを確認し、日ごろから備えておきましょう。

☎防災課地域防災係・内線2532

☑ 住宅用火災警報器を設置している

防災設備取り扱い店、電気器具販売店、ホームセンター、家電量販店などで購入できます。



☑ キャスターが付いている家具をロックしている

揺れによって、動く危険です。しっかりと固定しましょう。

☑ 緊急時の連絡先、避難先を共有している

緊急時、誰に連絡するのか、どこへ避難するのかなどをあらかじめ家族で共有しておきましょう。

☑ 防災加工されたカーテンにしている

万が一の火災に備えましょう。

☑ 割れ物や窓ガラスの飛散防止対策をしている

ガラス製品は不安定な場所に置かない、窓ガラスには飛散防止フィルムを貼るなど、対策をしましょう。

☑ 廊下やドアの近くに物を置いていない

玄関につながるドアや廊下は避難経路です。塞がれないよう、気を付けましょう。

☑ 暗くても移動できる工夫をしている

夜間の災害に備えて、懐中電灯などをベッドの近くに用意しておきましょう。

☑ 自宅の危険度を理解している

「立川市水害ハザードマップ」や「立川市土砂災害ハザードマップ」では特に氾濫しやすい河川や土砂崩れの危険がある場所が分かります。あらかじめ自宅の場所を確認しておきましょう。

また、「立川市防災マップ」も活用し、自宅から避難所までの経路を把握しておきましょう。



マップは市ホームページからご覧いただけます。



☑ 緊急時の情報入手先を知っている

災害時、市や専門機関でさまざまな情報を発信しています。どこで、どういった情報を得られるのか、あらかじめ確認しておきましょう。

立川見守りメール

メールアドレスを登録すると、災害情報のほか、防犯情報なども配信されます。

☎生活安全課・内線2546、防災課・内線2535



防災行政無線

災害情報などを市内各所のスピーカーから放送します。場所や天候によって聞き取りづらい場合は、電話応答サービス☎0120(131)119または☎(523)5931でも聞くことができます。

☎防災課・内線2535

市ホームページ・SNS

災害時に、災害関連情報を提供します。

☎広報課・内線2745



南海トラフ地震臨時情報の発表を受けて、今私たちができること

8月8日に宮崎県日向灘沖を震源とする地震が発生し、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発表されました。発表に伴う政府からの特別な注意の呼びかけは15日午後5時に終了しましたが、大規模地震はいつ発生するか分かりません。立川市は、南海トラフ地震の防災対策推進地域には指定されていないものの、想定震源域は広範囲なため、立川市でも5弱から5強程度の揺れがあるものと想定されています。

避難体制や備蓄など、地震への日ごろの備えを改めて確認するをお願いします。

